

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本赤十字社長野県支部						
代表者名	氏名	阿部 守一			役職名	支部長	
主たる事務所の所在地	長野県長野市南県町1074番地						
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉					
	中分類	83 医療業					
主たる事業の概要	赤十字事業の普及・推進						
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者					
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者					
原油換算エネルギー使用量	9,444	k1	その他ガス排出量合計	43.054	t-CO ₂	自動車の台数	163 台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

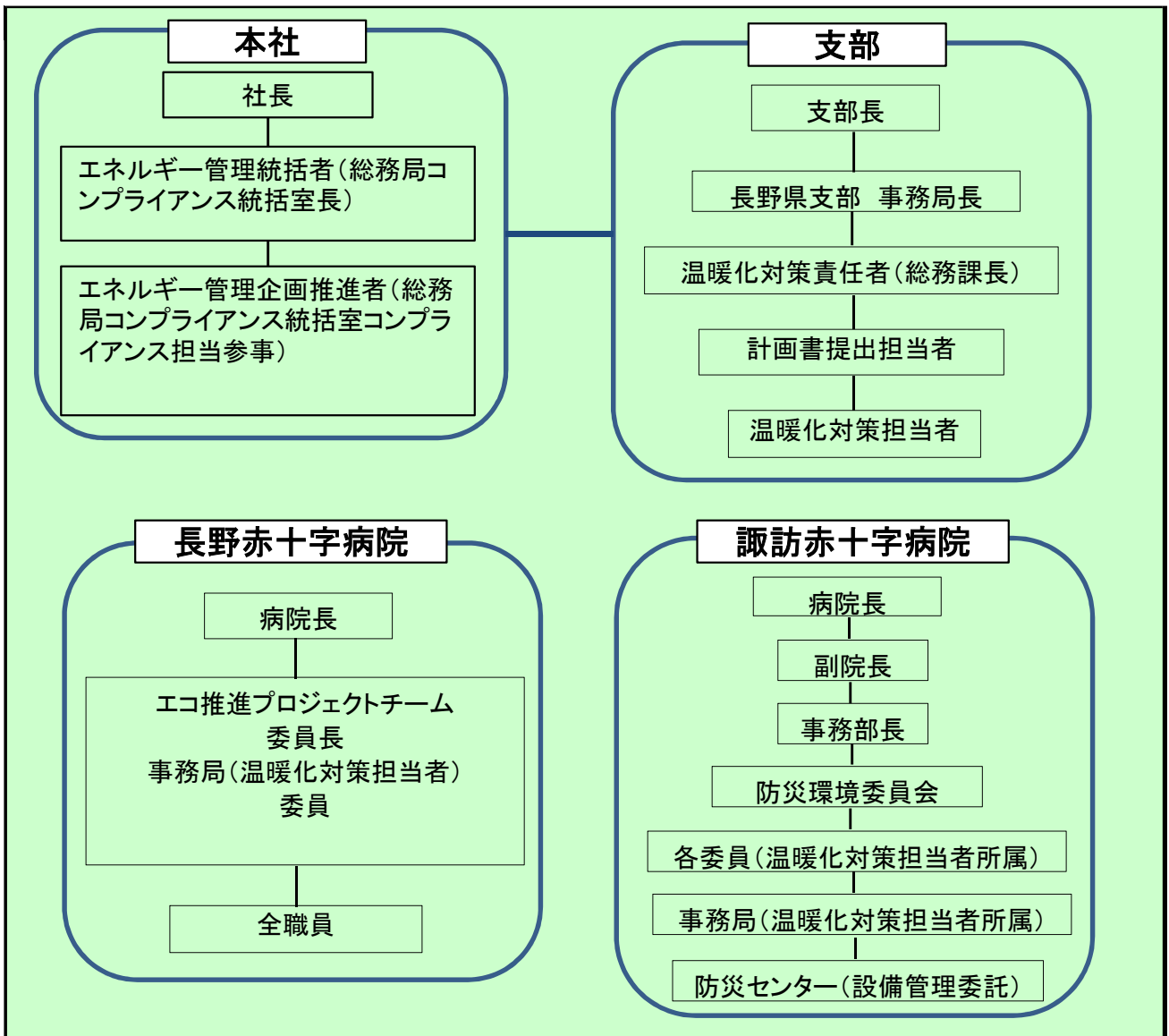
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.nagano.irc.or.jp
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

職員一人一人が温室効果ガスの排出が地球温暖化を引き起こす原因であることを認識し、温室効果ガスの排出を抑えるよう、継続的な取り組みをする。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	20,283	t-CO ₂	延床面積	140	単位	千m ²	
25年度	調整後排出量	16,968	t-CO ₂	基準原単位	145.39	t-CO ₂ /	千m ²	
目標年度	目標排出量	18,154	t-CO ₂	目標原単位	143.79	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	3.22	%	目標削減率	1.10	%		
目標設定に関する説明	適正照度管理、窓の遮熱層の設置により温暖化ガスの排出抑制を図り3年間で3%程度の抑制目標を達成できるようピーク時の電気量などを削減していく。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	19,812	t-CO ₂	延床面積	140	単位	千m ²	
	調整後排出量	19,721	t-CO ₂	原単位	142.01	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
26年度	削減率	2.32	%	削減率	2.32	%		
排出量等の増減理由	新たな医療機器の導入などによりエネルギーコストが増加したが、ボイラー等の運転について省エネ管理に努めたほか、廊下や事務室等の電気を小まめに切ることにより、電気使用量を削減した。							
第二年度	排出量	20,175	t-CO ₂	延床面積	148.81	単位	千m ²	
	調整後排出量	20,104	t-CO ₂	原単位	135.57	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
27年度	削減率	0.53	%	削減率	6.75	%		
排出量等の増減理由	庁舎建替えによる延床面積の増、また昇降機等の設備の充実を図ったことにより、使用電力量及び都市ガス使用料が増加した。(長野県支部) A重油使用量が増え、排出量は前年と比べ増加した。(長野日赤) 医療機器の導入と、設備の経年劣化によりエネルギーコストが増加した。特に冷水熱交換機的能力低下が顕著であり、療養環境の確保を優先とし冷水使用量が大幅に増加した。(諏訪日赤) 平成27年度の排出量は目標値に近づく削減効果があった。要因は空調機外気導入を減らしたことが大きいと思われる。管理標準に基づき計画設定年度3%削減に向け目標値が達成できる様取り組みを進めていく。(安曇野日赤) 冷温水発生機の運転を調整したため。(飯山日赤) 廊下や事務室の電気を小まめに切ったり、冷暖房機器の使用減により、電気使用量を削減(川西日赤)							
第三年度	排出量	20,611	t-CO ₂	延床面積	148.81	単位	千m ²	
	調整後排出量	20,581	t-CO ₂	原単位	138.50	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	削減率	(1.62)	%	削減率	4.73	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	庁舎建替え(H27.11~)による延床面積の増、また昇降機等の設備の充実を図ったことにより、使用電力量及び都市ガス使用料が年間を通して基準年度より増加したが、H28年度に空調設備の見直しを行ったため、新庁舎での比較においては、H27年度より使用量を削減することが出来た。(支部) 「医療機器の増加」および「夏期における空調機使用の増加」、「冬期のヘリポート融雪」に伴って電気使用量が増加し、温室効果ガス排出量は前年と比べ増加した。(長野日赤) 医療機器の導入と、設備の経年劣化によりエネルギーコストが増加した。特に冷水熱交換機的能力低下が顕著であり、低室温を要する手術における手術室環境確保のため病院全体の冷水使用量が大幅に増加した。28年10月に熱交換機オーバーホール及び手術室系統空調チラー増設を実施、これにより冷水使用量は11月からは前年同月比で大幅な削減ができたが、28年度全体エネルギー消費量では目標達成に至らなかった。患者の命を最優先し止むを得なかった。(諏訪日赤) 平成28年度は、歯科口腔外科・歯科専用レントゲン・幼児保育室・ICU室の増設工事などがあり、運用も開始し目標値より微量の増加 削減には、至らなかった。次年度も管理標準に基づき計画設定年度を定め目標値が達成出来る様に取り組みを進めていく。(安曇野日赤) 冷温水発生機の運転を調整したため。(飯山日赤) 廊下や事務室の電気を小まめに切ったり、冷暖房機器の使用減により、電気使用量を削減(川西日赤)							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	418	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	395	t-CO ₂	削減率	5.4	%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	491.7	t-CO ₂	削減率	-17.76	%
27年度						
排出量等の増減理由 訪問看護の需要増や、災害出動などにより車両の使用頻度が多かったため。						
第三年度	排出量	373.8	t-CO ₂	削減率	10.47	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由 同地区の出張は、まとめて行うなど業務の調整を行い、公用車の使用を減らした。(支部) 訪問看護事業における需要の増加に伴い、訪問車の使用が増えたため。(長野日赤) 訪問看護の需要増や、災害出動などにより車両の使用頻度が多かったため。(諏訪日赤) 車の台数が1台増加したため。(飯山日赤)						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	120202 冷温水出口温度設定	27	5	28	5
2	エネ起	120502 可変流量制御方式	26~28	1.5	28	0
3	エネ起	130101 設定温度、湿度の適正化(設定温度の管理)	26~28	12.3	28	2
4	エネ起	130102 外気導入量の制御	26	10	28	0
5	エネ起	130103 空調区間の管理	26	5	28	0
6	エネ起	150105 デマンド管理	26	10.2	28	0
7	エネ起	150201 照明器具及びランプの適正な選択	26~28	58.7	28	59
8	エネ起	150204 適正照度の管理	26~28	61.5	28	2
9	エネ起	150303 電力削減	26~28	0.2	28	0
10	エネ起	160202 窓の断熱性、機密性	26~28	1.4	28	0

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
フリークーリング	tCO ₂	23.7		23.7	23.7	23.7
太陽光発電(おひさま進歩)	kw	19.24		19.24	19.24	19.24

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書(熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により創出されたクレジット	tCO ₂				2	3
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	3315		91	69	27
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110104 目標設定、実行計画の策定			28	0.5
2	エネ起	130105 運転時間、ファン動力の軽減対策			28	0.5
3	エネ起	150302 自動販売機のスケジュール管理	26~28	2	28	1
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂					
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	6,674	1	6,595	1	6,693	2	13,508
1,500k1以上 3,000k1未満	1	6,125	1	6,168	1	6,328	0	0
1,500k1未満	7	7,484	7	7,049	7	7,154	7	7,103
合計	9	20,283	9	19,812	9	20,175	9	20,611

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	28.006	43.054
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	28.006	43.054

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	1	1	1	0
電気自動車	1	1	1	1
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	1	0
合計	2	2	3	1
自動車総数	162	166	162	163
次世代車導入割合	1.2	1.2	1.9	0.6

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	21～24、26～28年度にかけて県下一斉ノーマイカー通勤ウィークに参加協力した。(長野日赤) ・片道2km未満の自動車通勤禁止
公共交通機関の利用促進	病院敷地内に路線バスの停留所を設置している。長野地区バス共通ICカードチャージ機を院内に設置している。(長野日赤) ・バス、タクシーの停止場所の設置
来客者の交通対策	駐車場混雑する時間帯を中心に駐車場案内係を配置している。(長野日赤) ・一般車両の一時乗降場所の設置(諏訪日赤) 来客者デマンド交通利用の呼びかけ(安曇野日赤)
物流の合理化	配送委託システムを導入し、配送頻度の最小化を図っている。(長野日赤)

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	省資源・リサイクルへの取り組みとして、コピー用紙の裏面利用等を喚起。職員の通勤について、できるだけ公共交通機関を使用する。
第一年度実績	省資源・リサイクルへの取り組みとして、コピー用紙の裏面利用等を喚起
第二年度実績	ビン・缶・ペットボトル・紙・プラスチック・資源ごみなどをしっかり分別することを喚起。特に、ペットボトルは、本体、キャップ、ビニール部分に分けるように徹底。(長野県支部) 病院内緑化 廃棄物の啓蒙活動
第三年度実績	空調設備の見直しを行い、電力の削減を図った。(支部) 病院内緑化、クールアースデーライトダウン活動への参加 リサイクル用品の使用(コピー用紙、廃棄物用ダンボール・ペール缶) 空調機の設定温度に関するポスターの作製・掲示(長野日赤)

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取り組み	「正面玄関の回転ドア化によるホール空調の省エネ」「蒸気バルブへの保温ジャケット取付」「蒸気ボイラー用自動ブロー装置の設置」「デマンド制御システムの導入」 「駐輪場を拡充し、自転車通勤のための環境整備」「空調インバーターの導入」(長野日赤)	
その他		